

第Ⅰ学年Ⅰ組 音楽科学習指導案

令和6年11月20日（水）5校時

授業者 岸 裕貴

Ⅰ. 育成する資質・能力 学習指導要領 第5節音楽 Ⅰ目標

B鑑賞（Ⅰ）ア（ア）、イ（ア）〔共通事項〕（Ⅰ）ア

本題材の学習において生徒の思考・判断のよりどころとなる音楽を形づくっている要素

「音色、強弱、旋律」

」

2. 題材名 魔王はなぜ多くの人を惹きつけるのだろう。

3. 題材の目標

「魔王」の音色、強弱、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、要素や構造と曲想との関わりを感じ取って聴き、楽曲に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わう。

4. 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「魔王」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	「魔王」の音色、強弱、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	「魔王」の音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを感じ取って聴き、情景を想像しながら音楽のよさや美しさを味わうことに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

5. 生徒の実態

個人情報保護のため省略

6. 指導と評価の計画

時	■ねらい ○学習内容（丸数字）	評価規準【方法】		
		知技	思判表	態度
Ⅰ	題材を貫く問いの提示。 「魔王はなぜ多くの人を惹きつけるのか」 ■魔王の作曲家や登場人物について知り、曲想について感じたことを述べ合う。			観察 ワークシート

	①目標を記述する。(学習の足跡) ②作曲者や魔王の詩、登場人物を理解する。 ③魔王を聴いて、感じたことを記述する。 ④記述したことを話し合い、友達が感じたことを記述する。			
2 (本時)	■魔王の登場人物の心情の変化と、音楽を形づくっている要素との関わりを考える。 ①目標を記述する。(学習の足跡) ②子だけ、父だけ、魔王だけを聴くグループに分かれて、音源を聴き、登場人物の心情の変化と音楽を形づくっている要素との関わりを考える。 ③子、父、魔王を聴いた人が一緒になるグループに分かれて、②の時に出了意見を共有する。 ④魔王の怖さを表現するためにどのような工夫がされているか、またどのように感じたか個人でまとめる。		観察 ワークシート	
3	■魔王がなぜ多くの聴き手を惹きつけるのか考える。 ①目標を記述する(学習の足跡) ②前時の振り返りをする。 ③魔王がなぜ多くの聴き手を惹きつけるのか批評文にまとめる。 ③グループで共有する。 ④学習の振り返りをする。	観察 ワークシート		観察 ワークシート

7. 本時の学習

(1) 目標 魔王の登場人物の心情の変化と、音楽を形づくっている要素との関わりを考える。

【思考力、判断力、表現力等】

(2) 展開 (2/3時間)

主な学習活動 予想される生徒の反応(・)	教師の支援(○) 評価規準(★)
1 前時の復習をする。(2分) ・作曲者はシューベルトであった。 ・登場人物は語り手、子、父、魔王だった。 ・なんだか怖い印象の曲だった。	
2 本時のめあてを確認する。(2分) 「魔王」のゾクゾクを表すためにそれぞれの登場人物にどんな工夫がされているのかな？	
3 「魔王」の登場人物の心情を表すためにどんな工夫がされているか、個人で記述する。(5分)	

4 グループAで考える（15分） 子だけ、父だけ、魔王だけ聴くグループに分かれ、それぞれが歌う箇所を抜き取った音源を聴いて、心情の変化と音楽を形づくっている要素について考える。 ・子は魔王が近づき、怖さが増している。強弱は強くなっていき、音の高さも高くなっていった。 ・父はだんだん焦りが高まっていく。音の高さが高くなり、強弱も強くなっていった。 ・魔王は優しい様子であったが、最後に怖さが出た。強弱が弱かったが、音の高さもあまり変化がない。最後は音程が急に下がった。	○何度でも聴くことができるようにタブレットPCに音源を入れる。 ○考えたことを他者に説明ができるように、納得できるまで話し合いをすることを伝える。 ○話し合いが停滞しているところにはヒントシートなどを活用し、活発になるように支援する。
5 子、父、魔王を聴いた生徒のいるグループで共有する。（13分） ・子ではこのような意見がでました。 ・魔王はこんな意見もあったよ。	○活発な話し合いになるように、生徒同士の会話の中でわかりにくい場合は、質問しあっても良いことを伝える。 ○より理解を深めるため、音源を流しながら意見を言うように伝える。
6 再度、「魔王」の登場人物の心情を表すためにどんな工夫がされているか記述し、それらを踏まえてこの曲をどのように感じたかを個人で記述する。（10分）	★評価の場面 【思・判・表：行動観察、ワークシート】
7 本時の振り返りを行う。（3分）	

（3）本時の評価に関する生徒の具体的な姿と手立て

思考・判断・表現	十分満足できると判断される状況（A）	おおむね満足できると判断される状況（B）	支援を必要とする生徒への指導の手立て（C）
	・旋律と強弱、音色、その他の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。	・旋律と強弱、音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。	・旋律と強弱の知覚が難しく、ワークシートの記述が難しい生徒については楽譜を見させ、視覚的に音の高さの変化や強弱の変化が考えられるようにする。

具 体 の 姿	・曲が進むにつれて父や子の音程は高くなり、強弱も大きくなる。さらに声色も悲痛な様子に変化していった。魔王が近づいてきて怖さが増している様子や、なんとか子どもをなだめようとする姿が浮かんだ。 魔王は始め、明るい雰囲気、リズムも細かく、弱く優しい声であったため、優しく誘う姿が浮かんだ。最後には音程が急に下がり、いよいよ本性を現し、襲う姿が浮かんだ。	・父や子の音程が高くなり、強弱も大きくなった。怖さが増しているように思えた。 魔王は最後だけ力強くなり、音程も下がった。最後の最後に襲う姿が浮かんだ。	
----------------------------	---	---	--